

## リーテムのエコマネジメント

中島 賢一（なかじま けんいち／株式会社リーテム会長）

第3回経営者「環境力」大賞をいただきまして、ありがとうございます。リーテム（re-tem）社は資源の再生・循環システム、技術力とマネジメント力＝ resource technology & managementを發揮して経営をし社会貢献をしている会社です。

### エコマネジメント

リーテムは、1909年（明治42年）に創業し金属複合材のゼロエミッションの実現、全国規模での廃棄物再資源化体制の確立、東京工場建設、全事業所でのLCA調査等環境負荷低減に向けた技術開発など廃棄物処理にする長年の経験とノウハウ、最先端の設備、技術開発力、調査力をベースに大きな観点から「環境」と「経済」、「社会」を俯瞰した「エコマネジメント」のコンセプトを打ち立てています。

Resource Technology 「廃棄物再資源化」というハードとManagement & Consulting 「環境マネジメント・コンサルティング」というソフトの2つの事業を柱としてサステイナブルな社会の実現をめざしています。

### リーテムの考えるサステイナブルな社会

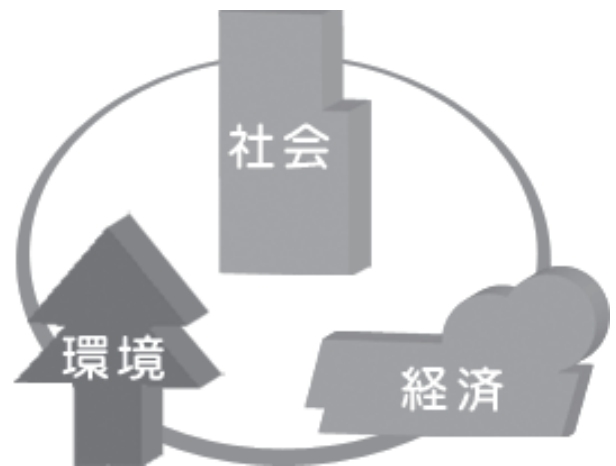
サステイナブルな社会が必要とするもの。それは企業・行政・市民のコミュニティとしてのヨコのつながりです。残念ながら「環境」と「経済」の両立だけでは、貧困や格差、宗教や文化の衝突、世代間のギャップ等の多くの社会問題は改善することができません。

なぜなら、環境問題と経済安定のバランスを論じるのは、地球レベル、国レベル、の大規模な範囲の話だからです。

そして、差し迫る心配事、危険、苦痛、困難の中に暮らす人達にとって、将来の地球環境のことなど問題になりません。彼らが直面している問題から自由になって、始めて環境問題を考えるでしょう。

「環境」と「経済」の面からだけではなく、人々の幸せや社会とのつながりの中で環境問題を考えるこそ、人々は賛同し、環境保護に真剣に協力できるのではないのでしょうか。

リーテムは「環境負荷の低減」、「経済メリット」、「社会の利益」の3者のバランスを取りながら発展していくのが、サステイナブルな（持続可能な）社会だと考えます。



### タテの分断をヨコの連携に変えたマネジメントのかたち

サステイナブルな社会を実現するために必要なマネジメントのかたち、それがリーテムの提唱する「エコマネジメント」です。何故、その発想に至ったのか。それは、創業100年を超えるわたしたちが、長く取組んできた「リソースリカバリー」から学んだひとつの帰結なのです。

エコマネジメントのコンセプトは、環境面、社会面、経済面の3つの側面を幅広く俯瞰し、全体のバランスを取ること。ひとつの側面の効果を他の側面に波及させていきます。

例えば、ある企業が経済面で高く評価される優れた省エネ技術や循環・再生技術を開発したら、その技術を都市全体に活かせば環境面での大きな成果につながります。さらに、その成果を行政に組み込んでいけば社会レベルでの大きな影響力を持ちます。そのようにして日本全国レベルから、やがては地球全体レベルへの成果につなげていきます。

## リソースリカバリー（資源再生）で都市鉱山を社会に生かす

リーテムは水戸工場、東京工場の2つの拠点で、主に鉄系複合材、OA機器、電子電気機器類のリサイクルとパーツのリユース事業に携わってきました。その間、常にわたしたちの心にあったのは、“都市鉱山”の思想です。都市でゴミとして大量に廃棄される製品の中には、価値のある資源が眠っているという考え方です。

わたしたちはその以前から、リサイクル事業を現業として行う中で、そのことを身を持って感じてきました。なぜなら、遠い外国の自然を破壊して鉱山から鉄や金などの天然資源を掘り起こす代わりに、都会で廃棄された多くの製品を、自分達の工場ですべて解体・分別・選別して処理することで、資源として再生させてきたからです。わたしたちの役目は、社会のためのリソースリカバリー（資源再生）であると自負し、継続的な技術開発を怠らず、長年努力を続けてきました。

## リソースリカバリーのその先の使命

リソースリカバリー、というハードビジネスだけでは、廃棄物発生量全体の抜本的な抑制、業界や行政の垣根を越えた資源リサイクル、物流全体としてのCO<sub>2</sub>削減など社会全体の環境負荷を低減することは困難でした。社会全体の環境負荷低減のためには、自社だけの取組みではなく、個別企業の枠を超えたネットワーク形成が必要だと感じました。

例えば同業種間、異業種間の企業と企業の連携、企業と行政の連携、行政と研究機関の連携等です。都市、地域、企業、教育分野、研究分野それぞれが持つ、情報、知識、技術を共有化して、経済活動とそれに伴う環境影響を有機的にマネジメントすることで達成出来る環境負荷の低減効果は大きいからです。異なる組織の様々な人々が縦割りで行っている環境対応を横につなげながら、経済、環境、社会の3側面の全体のバランスを図ること、それが「エコマネジメント」です。

リーテムは、従来続けて来たハードビジネスであるリソースリカバリーと、ソフト面であるエコマネジメントビジネスの二つのアプローチで、サステナブルな社会の実現のために、新たなサービスを提案していくために行動しています。

### エコマネジメント

J.RICレアメタルリサイクルチェーンマネジメントサービス、資源循環センター構築支援サービス、リサイクルマネジメント請負サービス、その他

### リソーステクノロジー（資源回収）

都市には資源が眠っているという都市鉱山の考え方に基づく廃棄物の処理・リサイクル・リユース事業